

北海道・知床の流水サウナ、滋賀・琵琶湖への発酵と食の旅、わざわざ行きたい佐賀のローカルレストラン……いま訪れるべき旅の目的地はここだ!

Discover Japan

2022
April

2022年4月号(毎月6日発売)
3月4日発売/第4巻第5号/通巻39号

4

風景写真家
森田敏隆さんが案内
一生に一度
見ておきたい

桜の名所
10

特集

身体と心をととのえる

春旅へ

サウナ、発酵、美食、温泉

プロサウナーととのえ親方が
いま行くべきサ旅を案内!



◎ととのえ親方・松尾大さん監修! サウナを通して地域の魅力を体感する、おすすめの“サ旅”12選◎くるみの木・石村由起子さんと行く、“発酵”と“食”でととのう滋賀旅◎マッキー牧元さん、食材と出合う楽しさを求めて佐賀のイタリアン「Kaji synergy restaurant」へ◎ディスカバー・ジャパンが惚れた、出張メシ29 ◎地域が持続していく、これからの観光の在り方とは? 群言堂・松場大吉さんなど……

広島県・尾道市

瀬戸内海に浮かぶ名建築で、 憧れの船旅へ。

guntû

備後地方で親しまれるイシガニの愛称を名の由来とする「ガンツウ」。
専用ラウンジで過ごした後に乗船する船内には、端正で美しい空間が広がっている。



瀬戸内海の色を満喫するための木の建築

3階建てとなるガンツウの、最上階にあるオープンデッキ。巡航速度は10ノット（時速18.5km）のため、揺れが少なくエンジン音も静か

2017年10月、穏やかな瀬戸内海をめぐる客船「ガンツウ」が就航した。コンセプトは「せとうちの海に浮かぶ、ちいさな宿」。広島県・尾道にあるペラビスタマリナーでゲストを乗せ、ゆったりと海の上を進んでいく。

日本人に馴染み深い切妻屋根を載せ、瀬戸内海の澄んだ蒼や真っ赤な夕焼けなど、どんなときも周囲の色彩に染まる銀色の外観。船内には檜やサワラなど11種類の木材をふんだんに使用し、漆喰も多用している。上質な落ち着きと洗練さを兼ね備えたシンプルモダンな空間は、船上であることを忘れるほど居心地がよい。

設計者は建築家の堀部安嗣さん。「瀬戸内の風土や文化、生活が感じられる船」を目指したうえで、それを表現したエリアのひとつが、切妻屋根の下オープンデッキや「縁側」と呼ぶスペースだ。軒先は瀬戸内海の風景をドラマティックにフレーミング。潮風を受けながら島々を眺めていると、堀部さんが思い描いた「陸地で暮らす方々と時間を共有している感覚」が胸に迫ってくる。



設計＝建築家・堀部安嗣

1967年、神奈川県生まれ。建築家・益子義弘氏に師事し、1994年、堀部安嗣建築設計事務所設立。「牛久のギャラリー」で吉岡賞、「竹林寺納骨堂」で日本建築学会賞（作品）、「立ち去りがたい建築」で毎日デザイン賞を受賞

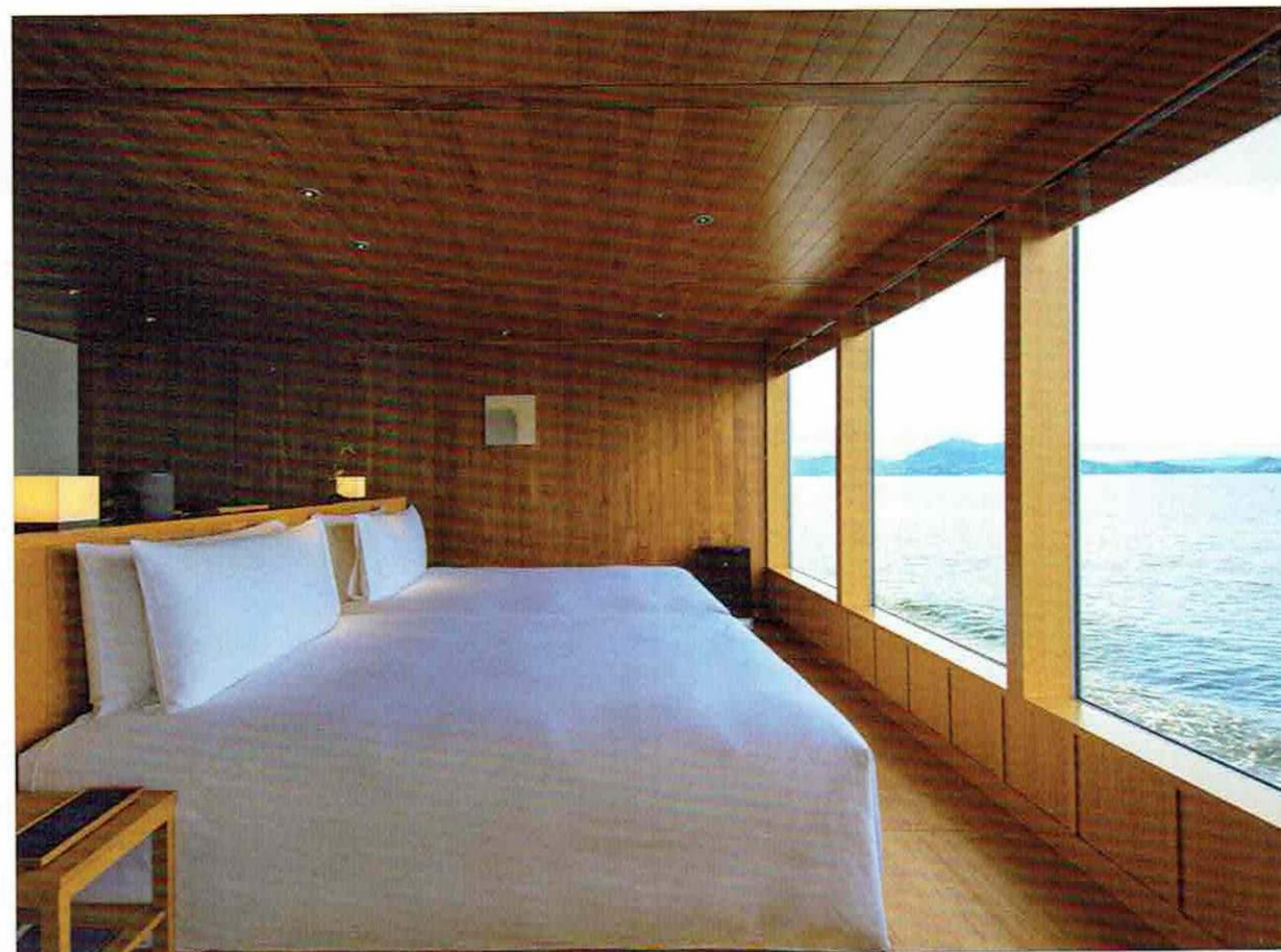
瀬戸内の海に溶け込む シルバーの外装



海と空の色を映し出すシルバーの船体は、瀬戸内海の風景によく馴染む。空間もサービスも一級品。まさに海に浮かぶ贅沢な宿だ

ガンツウは出港後、ほかの港には寄港せず、夜は海に錨を下ろしてひと晩を過ごす。ただしテンダーボートに乗り換えて島々を訪れる船外体験も用意。着岸場所は航路によって異なるが、瀬戸内の風情ある街並みやのどかな日常に触れられる、特別な体験となる。

ほかに目の前でつくられる和菓子と煎茶、抹茶、珈琲のペアリングコースや、檜風呂とサウナを備えた浴場、トレーニングマシンのあるジムなど、さまざまな過ごし方を提案。もちろん船首側の景色を望めるカフェ&バーや全室50㎡を超える客室で、移ろいゆく景色をのんびり観望するのもよい。大小の島々が織りなす美しい景観はいつもそばにあり、眼福の時間が絶えず続いているのだから。



全客室がオーシャンビュー

客室は4タイプあり、写真は「テラススイート 露天風呂付き」。滞在中の食事や飲み物、船外体験などが含まれたオールインクルーシブスタイル（一部有料メニューあり）のため、客室の冷蔵庫やワインセラーにあるドリンクもすべてフリーだ



船上の縁側で 黄昏のひとつき

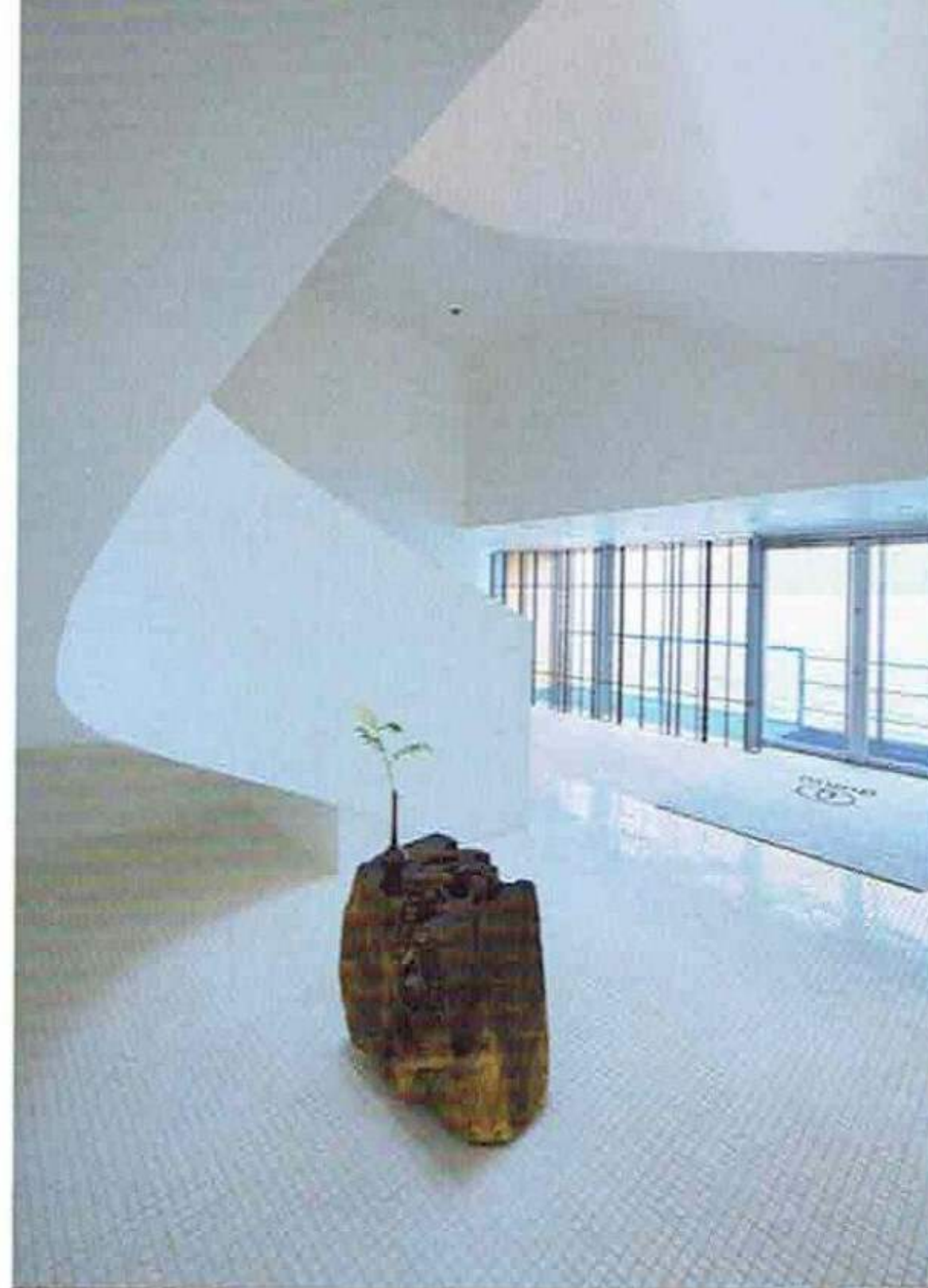
船の3階にある縁側。季節の甘味がいただけるほか、17時頃からは酒のつまみなども提供される。ドリンクの種類も豊富



guntu

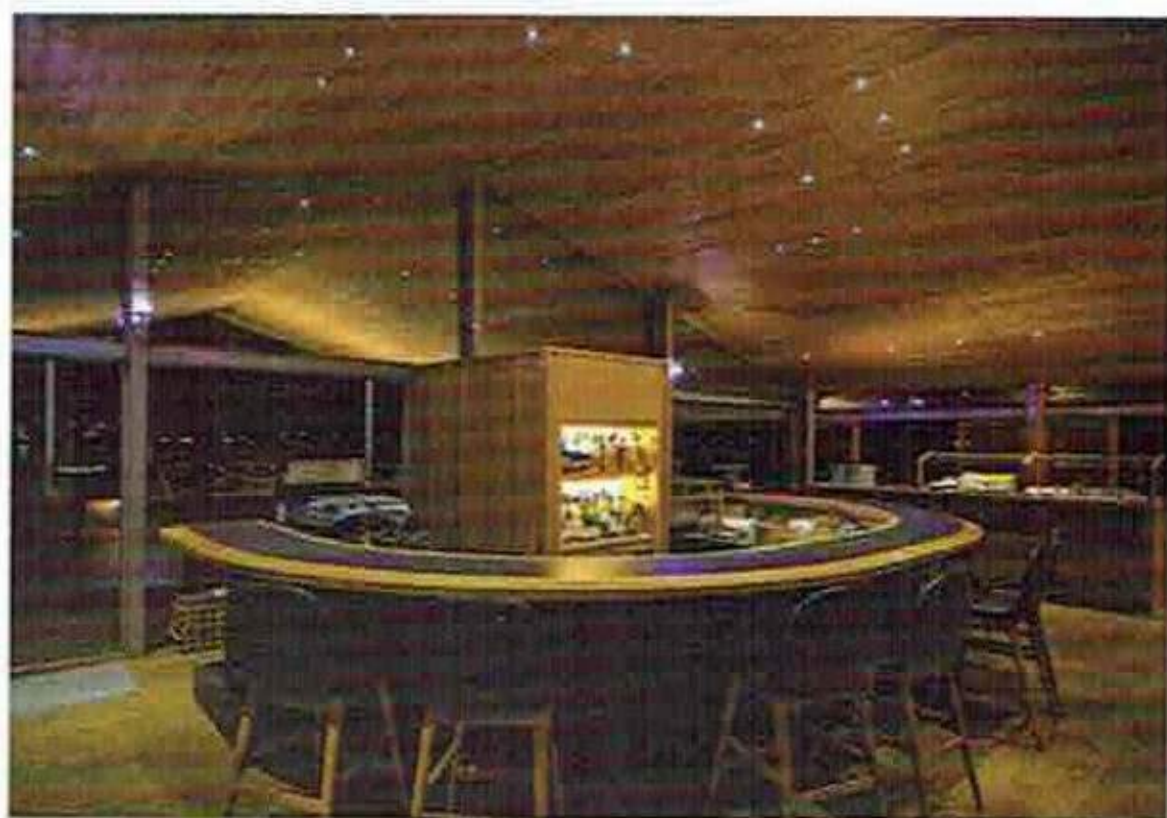
問：ガンツウデスク（10:00～18:00）
※日曜、祝日、年末年始を除く Tel: 0120-489-321 Mail: info@guntu.jp
申し込み方法：公式ウェブサイト、メールまたは電話にて受付。出発の31日前までに予約人数の総数が14名に満たない場合は催行中止 客室数：19室 出港・帰港：広島県尾道市にあるペラビスタマリーナ（広島県尾道市浦崎町1364-6）※事前予約にてJR福山駅または広島空港までの送迎あり 旅行代金：2泊3日間／1室2名利用1名あたり50万円～110万円（税・サ込、食事込）
※航路、プラン、客室によって異なる
※ペラビスタスパ&マリーナ 尾道（P80）の前後泊プランあり。1泊夕食付2名1室利用1名あたり4万3450円～（税・サ込） 夕食：ダイニング（和食、洋食） 朝食：ダイニング（和食、洋食） アクセス：車／山陽自動車道福山東ICから約50分 電車／JR福山駅から車で約40分 施設：ラウンジ、カフェ&バー、ダイニング（和食、洋食）、縁側、浴場、鯨カウンター、トリートメントルーム、ジム <https://guntu.jp>

航路&プランの詳細は
QRコードをチェック!



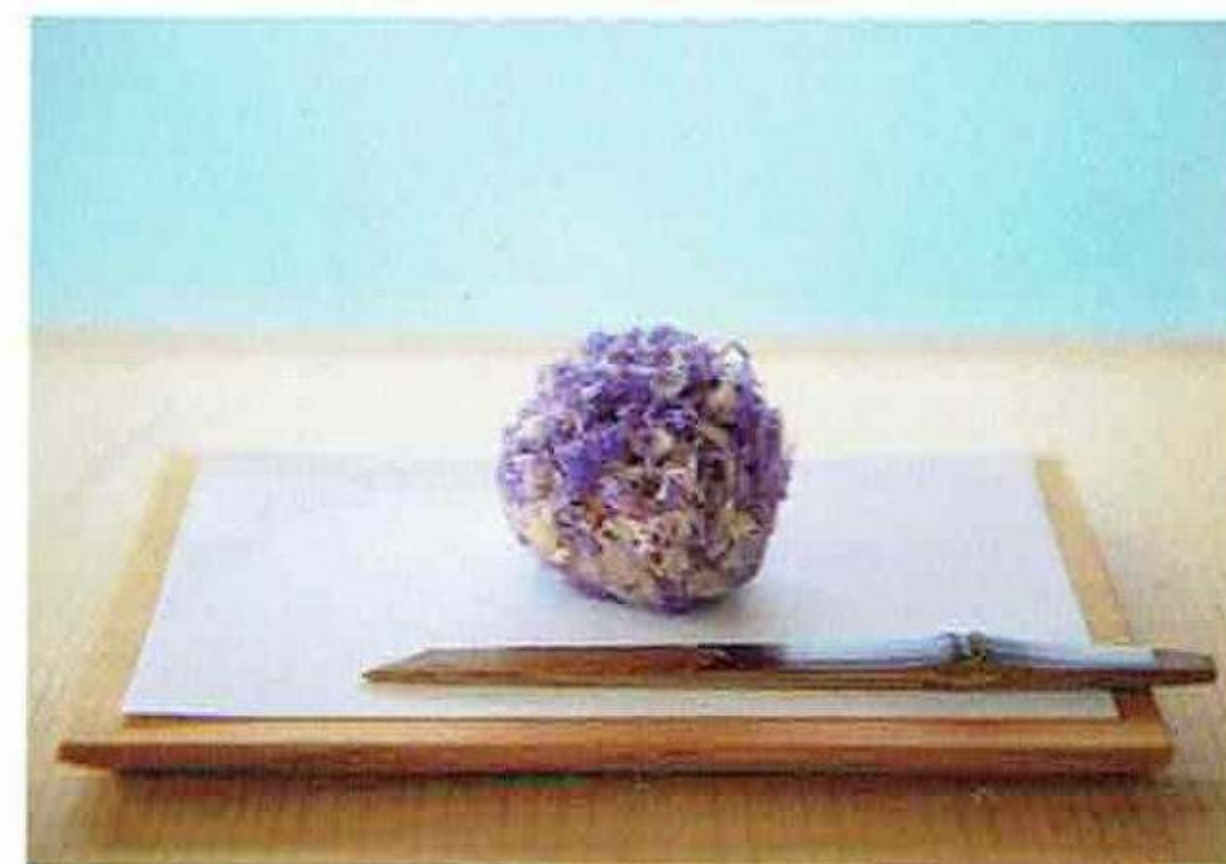
美術館のようなエントランス

漆喰の壁と大理石のタイルで構成されたエントランスホール。ミニマルで上質な雰囲気が漂う



寛ぎのカフェ&バー

10席のみの半円状のバーカウンター。スペシャルティ珈琲やフレッシュジュース、オリジナルカクテルなど、お好みの飲み物をいただける



季節の和菓子も楽しみのひとつ

ラウンジでは奈良「檜舎」監修の和菓子を提供。目の前でつくられる和菓子と煎茶・抹茶・珈琲のペアリングを楽しめる船内体験もある



海を望むカウンターで瀬戸内の幸を

名店「淡路島 瓦」監修の鯨カウンター。ハモ、タコなど、瀬戸内で捕れる新鮮なネタが揃う鯨をお任せで提供。どのネタも鮮度抜群。職人の繊細な仕事に感動を覚える



6月9日(木) 出航! 夏の特別航路へ

京都「菊乃井」を経て、2018年、東京・南青山に日本料理店「てのしま」をオープンした、店主・林亮平氏を迎えての特別プランが出航! 滞在3日目の昼時に、林氏の自家のある手島に寄港し、岡山県の郷土料理「ばら寿司」をはじめ、島の美味が振る舞われる。ガンツウならではの島の日常に出合う非日常の船外体験に注目だ。

夏の特別航路

北木島沖・小豆島沖・鞆の浦沖錨泊 四日間

日程：6月9日（木）～6月12日（日）

滞在スケジュール：

6月9日（木） ペラビスタマリーナ～北木島沖錨泊、

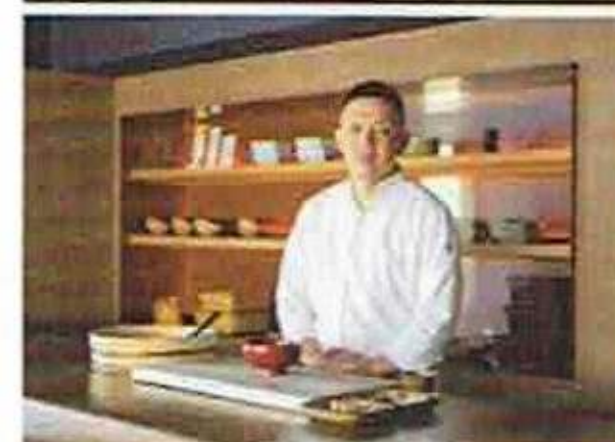
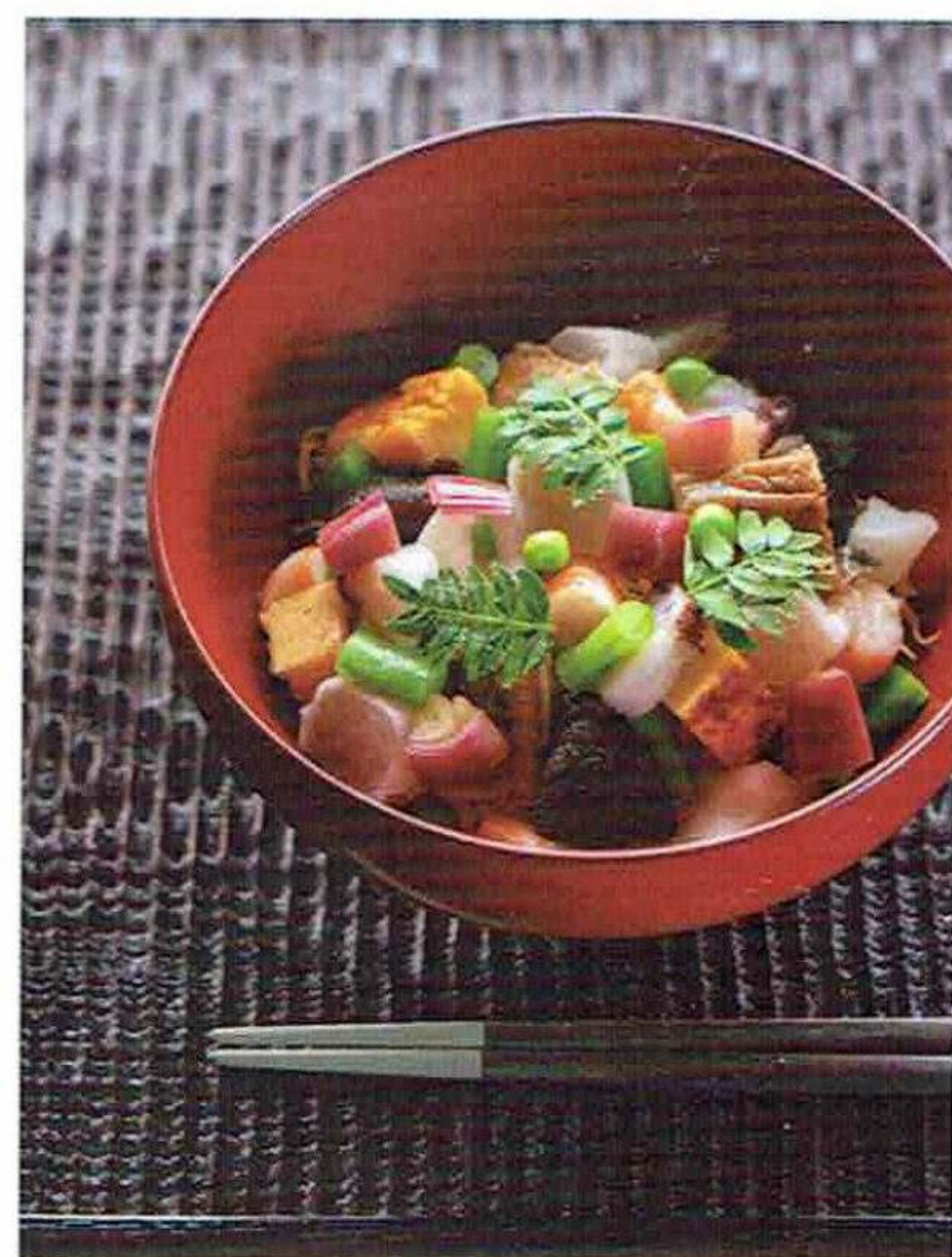
6月10日（金） 北木島沖～小豆島沖、

6月11日（土） 小豆島沖～手島～鞆の浦沖、

6月12日（日） 鞆の浦沖～ペラビスタマリーナ

※天候や海上状況によりルート変更の場合あり

料金：2名1室利用1名あたり80万円～155万円（税・サ込）※朝3回、昼2回、夕3回の食事付き



「昔ながらの空気感と、島の人々のおもてなしを楽しんでいただきたい」と林氏は語る